

水俣学研究センター定例研究会

## 「ミャンマーの現状について」

日時：2015年12月17日（木）16：30～18：00

場所：熊本学園大学 14号館 3階 第3会議室

### 第28回 定例研究会のご案内



講師：大津 定美氏(神戸大学名誉教授)

内容：軍政下にあり、半ば鎖国状態であったミャンマーにおいて、11月に総選挙があり、アンサンスーチーさん率いる野党が勝利をおさめた。来年春、大統領選挙が行われ、政権交代が行われることとなった。

ミャンマーでは、近年、臨海工業団地の建設などにより、経済成長をめざした国作りが行われるようになった。アンサンスーチーさんと1975年ロンドン滞在中より、家族ぐるみで、40年近く親交があり、たびたびミャンマーを訪問されている大津定美さんから、ミャンマーの現状にとこれからについて話していただく。

#### 講師紹介

大津定美（おおつ さだよし）1938年、北海道美唄市生まれ。  
東京外国語大学ロシア科卒業後、1969年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。龍谷大学経済学部助手を経て、龍谷大学経済学部、神戸大学経済学部、大阪産業大学経済学部教授を歴任。神戸大学名誉教授。経済学博士。専門は経済原論  
著書に「現代ソ連の労働市場」日本評論社他、1988年（サントリー学芸賞受賞）

（写真は昨年12月訪日時の大津氏夫妻とスーチンさん）